

上越市長 村山 秀幸 様

上越市議会議長 飯塚 義隆

市民と議会の意見交換会で聴取した市民意見への対応について

市議会では、上越市議会基本条例に基づき市民と議会の意見交換会を 11 月 6～11 日に開催し、4 会場で寄せられた 47 の意見等について、課題調整会議においてその対応方針を協議いたしました。

つきましては、課題調整会議で行政運営の参考にしていただきたい「意見等」を整理しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、意見や対応方針等については、議会だよりや議会のホームページ等で公表しますのでご承知おきください。

記

1 行政運営の参考にしていただきたい意見等 【21 件】

(1) 市の決算概況について

「市の決算概況(1)の 71 ページにある健全化判断比率等の表記について、実質赤字比率、連結実質赤字比率、資金不足比率は黒字などで横線だけ引いてある。良いことだが、経常収支比率や経常一般財源比率などが表記されていない。あればもっと分かりやすい。」(清里区)

(2) 防災対策の市の部署の集約について

「防災対策の市の部署について、牧区と中郷区はなぜ板倉区に集約されたのか疑問である。もう少し知恵を絞るべきではないか。」(清里区)

(3) 田尻ふれあいセンター付近の消防の乾燥塔について

「田尻ふれあいセンターのそばに消防の乾燥塔があるが、撤去を市に要請しているが、予算の都合なのか、そのままである。NTT から公衆電話設置の話もあり、携帯電話よりも災害に対応できることから設置する予定であるが、駐車場の真ん中に塔があり、非常に不都合である。スクールバスの乗降場にもなっているので邪魔にもなる。総合事務所に言っているが、何年も前から撤去の申請をしているが、何年待ちなのか。」(吉川区)

(4) 地域協議会委員の任期について

「4 月から地域協議会委員になった。地域協議会委員の任期を変えていただきたい。4 月に改選してすぐに、前任者の審査基準を基に採択の審査をするのは難しい。例えば 12 月改選等にしてはどうか。」(合併前上越市)

(5) 県立柿崎病院の統廃合問題について

「県立柿崎病院の統廃合問題だが、他市の病院に比べ、市長や市議の動きが鈍い。命を守ることは何よりも大事であり、へき地病院については赤字なのは当たり前であり、経済原理を導入するというのは間違いだと思うが、どのような認識か。」(吉川区)

(6) 有害鳥獣が生息しにくい環境づくりについて

「有害鳥獣が生息しにくい環境づくりはどうするか。780 k mの電気柵の大半は柿崎と吉川である。このまま増えると困るので、対策はないか。」(吉川区)

(7) クマの人身被害防止対策について

「清里区でもクマによる人身被害が発生した。県もクマ出没特別警報を発令し注意喚起を図っている。市としても効果的な対策をお願いしたい。」(清里区)

(8) 鳥獣被害対策と森林環境譲与税による里山整備について

「鳥獣被害について、イノシシやクマが人里にやってくる原因はいろいろだが、山の荒廃を改善することが大事と考える。森林環境譲与税の制度もあり、山を整備することが被害を減らす手立てになる。糸魚川では地権者と相談して既に取組を進めていると聞いている。税を利用し、里山整備を鳥獣捕獲とともに進めてほしい。せつかく1人年間1000円を払うのだから見返りとして効果があるように行政とともに協力して活用してほしい。」(吉川区)

(9) 三和区井ノ口の障害者施設周辺の道路整備について

「大型箱物の整備だけではなく、人々の生活に密着した市道の整備をしてほしい。三和区井ノ口に障害者施設ができたが、周辺の道路整備がきちんとされていない。」(三和区)

(10) 天王川の側溝清掃について

「11月1日に天王川クリーンアップ作戦を実施し、たくさんの市民に参加いただいた。市道が冠水することもあり、市の雨水管理総合計画では、側溝の清掃や土砂の詰まりなどは、ソフト事業として住民が率先して行うとある。本来、清掃などは行政が計画的にやるべきではないか。」(合併前上越市)

(11) 市民いこいの家の廃止方針について

「公の施設の統廃合について、8月25日の地域協議会で「市民いこいの家」の状況に関する資料をいただき、令和4年3月末で廃止することを知った。当施設は、ふれあいと健康増進のために設置されている。市は利用状況調査アンケートを取ったが、71名で調査対象が少ない。統廃合を決めるに当たっては、利用状況だけではなく、市民がその施設を必要としているのかなどを含めて、市民からもっと意見を聞いてほしい。」(合併前上越市)

(12) 公民館の再配置について

「公の施設の再配置の方向性案が示された。公民館にどのような認識を持っているか。市内に公民館はいくつあるのか、耐用年数や状況を把握しているか。地域によっては市から借りる方法もあると言うが、避難所でもあり、地域活動の拠点でもある。地域のコミュニティの場として、長期的に活動できるよう修繕費などの建物の管理に伴う費用は市が持つべきと考えるがどうか。」(吉川区)

(13) 公民館の再配置について

「吉川は旧小学校が公民館の分館になっており、複数の町内会が分館で公民館活動などを行っている。市は、地域と協議しながら廃止、譲渡、貸し付けの選択を提案しているが、譲渡は建物の処分費用が出せないのでありえず、貸し付けにしても実際には難しい。廃止となるとこれまで築いてきた地域の拠点がなくなり、地域活動ができなくなる。個々の町内会には集会所があると言われるが、公民館とは性質が異なる。町内会長は了解してしまったようであるが、公民館を普通財産にするとすると、今までと違って使用料がかかる。避難所にもなっていることから、建物が残るといっても普通財産になればこれまでと全く異なる。地域のつながりが切れてしまう。」(吉川区)

(14) 公民館の再配置について

「協議会としても説明を受けた。公民館の看板を下ろし、普通財産になると聞いている。令和7年までは使用するのだから、耐震診断や何年もつかなどの調査も市が行うべきと思うが、その議論はなく、譲渡や貸付の合意となっている。吉川では旧小学校区単位で行事が行われ、市街地とは状況が異なる。地域協議会への諮問がいつおりにきて、どのくらい時間をかけられるのか分からない。集会所があると言う人もいるようだが、目的が異なる。これまでの流れは納得していないので、地域協議会としてもこれから頑張る。」(吉川区)

(15) 公の施設の再配置について

「公の施設の再配置について、利用実績だけで存廃を判断すると、地域差が出るのではないか。施設には避難所など他に大切な場所としての役割がある。議会では、市からどのように聞いているのか。」(三和区)

(16) 学校の統廃合について

「学校の統合について学校施設の長寿命化と言っているが、そもそも人口減少で学校が存続できるかどうかのほう心配である。区域を越えた学校の統合も考える時期にきているのではないか。例えば、隣の高士小は複式学級になっている。話は出しづらいたらうが、議会の中でも話をしているのか。」(清里区)

(17) J-ホールディングスの施設経営について

「J-ホールディングスによる施設経営について、効率化が図られているのか疑問である。」(三和区)

(18) 上越市誕生 50 周年イベントに対する財政支援について

「来年、上越市が誕生して 50 周年を迎える。地域として盛り上げていきたいと思い、様々な計画をしている。行政側からも財政支援をお願いしたい。」(合併前上越市)

(19) 吉川地区公民館東田中分館の建物価値について

「東田中分館は旧東田中小学校の体育館であり、牧区の川上笑学館と同じような構造の体育館であるので、文化財として貴重な建物である。重要な建造物であることを認識してほしい。」(吉川区)

(20) カード決済やスマホ決済について

「国はカード決済やスマホ決済を推奨しているが、詐欺などの危険もある。また、カード決済等の導入には、高齢者と若者の間で受ける恩恵に不公平感がある。市民全体で公平に恩恵を受けられないか。」(合併前上越市)

(21) 通学路の安全点検について

「子どもの通学路について、L字側溝の上を歩いていたり、傘を差した時に外側線からはみ出ていたりして危険である。特に冬期は、積雪により歩くスペースが狭く危険である。点検をしっかりとってほしい。」(三和区)